

製品名: WDR77 (8A10) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03507**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 37 kDa; Observed MW: 42 kDa

抗原情報

遺伝子名	WDR77
別名	WD repeat domain 77; p44; MEP50; MEP-50; HKMT1069; Nbla10071; p44/Mep50
遺伝子 ID	79084
SwissProt ID	Q9BQA1
免疫原	ヒト WDR77 の合成ペプチド

背景

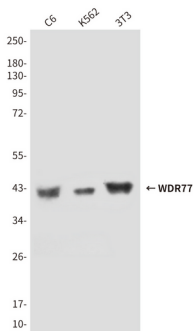
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、アンドロゲン受容体コアアクチベーターであり、タンパク質アルギニンメチルトランスフェラーゼ 5 と複合体を形成します。この酵素は、いくつかのスプライセオソーム Sm タンパク質中の特定のアルギニンをジメチ

ルアルギニンに修飾します。このタンパク質は前立腺癌の初期段階に関与している可能性があり、良性細胞ではタンパク質の大部分が核内に局在するのに対し、癌細胞では細胞質内に局在します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションがみつかっています。

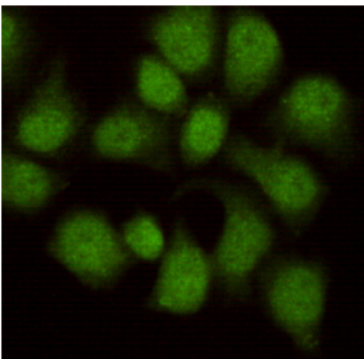
研究分野

シグナル伝達

画像データ



WDR77 抗体を使用した C6、3T3、および K562 溶解物中の WDR77 のウエスタンブロット分析。



WDR77 抗体を用いた HeLa 細胞の WDR77 (8A10) の免疫細胞化学分析。